

青パト活動を応援する情報発信マガジン

ビッグ★ブルー

第8号

平成26年9月11日発行
発行：山形県警察本部

住民と警察が協働して実現する日本一安全・安心なまちづくり ～ 庄内町青パト隊 ～

平成17年7月1日の平成の大合併により、旧余目町と旧立川町が合併して庄内町が誕生しました。今年で誕生から10年の歳月が経過しようとしています。

庄内町は、庄内平野の南東部に位置する南北に細長い形の町です。細長い形であるが故、北は酒田市、南東は霊峰月山に連なる出羽丘陵を境に戸沢村、大蔵村、西川町、南西は京田川を境に三川町、鶴岡市と様々な町に接しており、内陸地方と庄内地方を結ぶ分岐点に位置しています。

三川町に大型ショッピングセンターが出店してからは、買い物客の増加により町内を通る車の量が増加するなど、自然豊かな田園風景は変わらないものの、人々の生活スタイルの変化により、町の様子は少しずつ変わりつつあります。



町と企業からの支援を受けて活動しやすい環境が作られている

庄内町青パト隊は、平成24年9月14日、庄内地区交通安全協会、庄内地区安全運転管理者協議会、庄内地区安全運転管理事業主会、庄内町防犯協会、鶴岡田川地区警友会庄内町有志会により結成されました。団体毎に青パト隊を結成するのではなく、1町1団体として様々な団体で構成する珍しい組織となっており、各団体の特色を生かした幅広い活動が出来ることがメリットです。結成時に30名34台だった隊員は2年間で74名47台まで増え、地元の庄内警察署の指導を受けながら活動しています。活動拡大の背景には、庄内町から物品支援（チョッキ、帽子、マグネット等）、町内の企業から金銭的支援をいただいていることが挙げられます。これにより、新たに活動を始める隊員の各種負担軽減が図られ、気軽に入隊できると喜ばれています。

庄内町青パト隊は「住民と警察が協働して実現する日本一安全・安心なまちづくり」を旗印に掲げて活動しています。各隊員による日常的なパトロールはもとより、毎月20日には児童の下校時に合わせた一斉パトロールを実施しているほか、夕暮れ時のパトロールでは、交通安全や高齢者の見守りにも配慮して活動をしています。その効果があつてか、庄内町の刑法犯認知件数や交通事故発生件数は減少傾向にあるとのことで、喜ばしく思っています。



今後も、活動の更なる普及拡大と、防犯・交通安全意識の高揚を図り、地域の方々に安心感を持っていただける活動をしていきたいと思っております。

(文～庄内町青パト隊 会長 齋藤 君夫)

【編集後記】今号には来月開催される防犯指導者講習会のご案内を同封しました。講師の札幌屯田防犯パトロール隊の松井隊長は、北海道の防犯活動をリードしている全国的にも有名な方で、青パト活動にも熱心に取り組まれています。参考になる話が多々あると思っておりますので、是非ご参加ください。

【山形県内の青パト情勢】
(平成26年8月末現在)
団体数：103団体3,847名
青パト台数：1,323台